

黒松

第77号

令和6年1月5日発行
 柏崎刈羽地区保護司会
 TEL(0257)23-8615
 柏崎市豊町3-59
 総合福祉センター内



吹雪を走る(柏崎市鯨波) 撮影/保護司 佐藤俊男

新春を迎えて

柏崎市長

櫻井 雅浩



新年あけましておめでとうございませう。

毎年のように思いもしないようなことが、想定をはるかに超えるような事態が起こっています。このような時、私たちは手を携えて進まなければなりません。Smile on a rainy day! (雨の日に笑え)

柏崎刈羽地区保護司会会員の皆様におかれましては、日頃から更生保護活動や犯罪予防活動に御尽力いただいておりますことに対しまして、改めて感謝申し上げます。

さて、政府は、平成二十八(二〇一六)年に再犯防止推進法を施行し、再犯防止対策の強化に取り組んでいます。何よりも新たな被害者を生まない、国民が安全で安心して暮らせる社会を実現させる取組であり、市でも今年度からスタートした柏崎市第二次人権教育・啓発推進計画の人権課題に「刑を終えて社会に戻ってくる人の人権」を追加し、再犯防止対策の取組を進めているところでです。

今年の干支は、甲辰(きのえ・たつ)です。甲は物事の始まりを意味し、辰は万物が成長し活力が旺盛になると言われ、「成功という芽が成長していき、姿を整えていく」といった意味を持っているようです。今年二年が皆様にとりまして、さらなる成長の年となりますよう御期待申し上げます。

最後になりますが、刑を終えて出所した人等の立ち直りを支えるためには、地域社会の理解や協力、更生保護思想の普及啓発が不可欠です。保護司会の活動が広く認知され、柏崎刈羽地区が明るく希望に満ち溢れ、安全で安心して暮らせるまちとなるよう御祈念申し上げます。



少しの勇氣、少しの優しさ、少しの変化

柏崎市立第一中学校二年 工 藤 馨

「前科持ち」ってなんだろう？ふいに見た動画それには、「前科持ち」という人が発信した動画だった。その人が、自身で体験したその暮らしを明るく語っている動画。私は、「前科持ち」とは？と調べてみると「有罪判決を受けた経歴のこと」と出てきました。そして、あまりいい意味として扱われていない事を知りました。じゃあなぜ、インターネットという誰もが自由に見れて自由にコメントの書ける所で、自身を発信しているのだろうか？私のイメージでは、自分に前科があるのは、周りの人に知られたくないし、隠し通したい事だと思っています。だけどその人は、まったく反対の行動をしています。気になって、その人の動画をもっと見てみる事にしました。すると、コメントの返信動画で「なぜ、自身の知られたくないような事を動画で発信しているのですか？」というものがあつた。見てみると、自分と同じ事をしそうになっている人へ、自分のようにまぢがいを犯さないでほしいという事を伝えたいや、そういう事に関わった事が無い人にも知ってもらい、自分たちみたいなのがもっと自分らしく生きてゆけるようにしたいなど、自分では思いつかない事を言っていました。

だと考えます。誰も悪くないはずなのに起こってしまう、それがどうしようもなく悲しく切なく思います。しかし、犯した事は変わらず、社会で生きようとしても、後ろ指をさされ生きにくくなってしまふ人が多い今の社会です。その社会を変えるのに、大きな変化は必要なのでしようか？自身を発信する彼は、大きな変化があつて動画を発信しているのでしょうか？いいえ、きっと彼の中で起きたのは、変化ではなく決意ではないのでしょうか？決意が、ほんの少しの勇氣になり、ほんの少しの優しさになり、ほんの少しの変化が生まれるのではないのでしょうか？みんな、大きく変わる必要なんてないはずなんです。自分は、この人たちに、後ろ指を立てないぞと、そんな小さな決意で、社会は変わると思えます。今よりももっと明るく、暖かく、笑顔があふれるようなそんな社会を目指し、小さな決意してみませんか？その決意がきつと、社会を明るくするかぎになるはずですよ。

社会を明るくする運動作文コンテスト

柏崎刈羽地区表彰者

● 柏崎刈羽地区保護司会長賞

第一中学校二年 高 橋 莉 央

● 柏崎刈羽地区更生保護女性会長賞

第一中学校二年 長 澤 来 実

おめでとうございます



「頭の栄養」と「心の栄養」

柏崎刈羽地区更生保護女性会

副会長

加藤 愛子

更生保護女性会では、総会など大きな会の初めに必ず皆で起立し「皇后宮御歌」を歌います。「きずつきし心の子らをいだしよする母ともなりていつくしまなむ」この歌の心が、まさに私達会員の、希求するところなのだと感じます。そして、一年に何回かの集会は参加しますが、その度に頭の栄養になったり心の栄養になったりするお話をお聞きすることが出来ます。

各地区から会員が一堂に会して「お久し振り」の挨拶を交わし、近況を伝え合う優しい和やかな集まりの雰囲気は私にとっても好きです。

十二月の研修会では、十年振りに蓮池薫さんの講演をお聞きすることができました。二〇〇

二年十月蓮池ご夫妻が帰国、飛行機のタラップを降りる姿、私のはあの時の気持ちを忘れることができません。ああやっとなりて来られた。きっと他の方々も帰って来られると思つたものです。でも今にして思えば本当に奇跡のような帰国だったのでね。一日も早く全員の帰国がかなうことを祈りたいと思つています。

会員及び保護司会の皆様、たくさんご参加いただきありがとうございました。



令和5年度 各種表彰者

法務大臣表彰	多田 誓、永賣 和彦
全国保護司連盟理事長表彰	高野八千代
関東地方更生保護委員会委員長表彰	石塚 道宏、森 高志
新潟保護観察所長表彰	阿部 和雄、桑田 朋子
新潟県保護司会連合会長表彰	箕輪 正仁
全保連理事長賞家族功労者	飯塚佐紀子
県保連会長賞家族功労者	多田恵美子
関東地方更生保護委員会委員長感謝状	酒井美代子
関東地方更生保護女性連盟会長表彰	吉川 フミ
新潟保護観察所長感謝状	石田 悦子、矢代志津子 渡辺美枝子、小林 光江 池嶋 清子
新潟県更生保護女性連盟会長表彰	星野紀美子、江口由美子 石高 寛子、大島 陽子

「愛の協力会員募集の御礼」

昨年7月を中心に「社会を明るくする運動」が展開され、この期間中各地域の皆様から多大なるご支援をいただきましたことに厚く感謝と御礼を申し上げます。犯罪の無い地域社会作りは全市民の願い

です。そのためには、犯罪被害者の痛みに寄り添いながら、その上で犯罪を犯した人たちの更生について理解をいただくことが何より大切です。明るい社会に向かって一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。



「地域に必要な情報を伝える」



(株)柏崎コミュニティ放送
FMピッカラパーソナリティー

野村 介石

FMピッカラは1995年6月20日に地域に根ざした放送局として開局しました。愛称の「FMピッカラ」は、地元民謡の「三階節」で歌われる米山の雷の光を表現したものです。



2007年7月16日午前10

時13分23秒に新潟県中越沖地震が発生しました。弊社も被災し、スタジオの扉が開かなくなるなどしました。発生1分45秒後には番組を被災情報へと切り替え、24時間体制で開店店舗の情報、物資の支給先、炊き出し時刻などの被災者生活情報を伝えました。私もスタジオで寝泊りしながら行った41日間の災害放送、今でも鮮明に覚えています。

コミュニティFMは地域密着のメディアだからこそ、災害時には市民へきめ細やかな情報伝達が可能です。災害の

情報だけでなく物資情報、避難所情報、生活インフラ、行方不明者、医療機関、開いているお店、ガソリンスタンド、携帯電話が充電できる場所など、市民が必要としている情報を伝えることができます。

そして2021年1月からJCB Aインターネットサイマルラジオによるインターネット同時配信を開始、全世界へお届けしています。スタジオは日石町の柏崎市役所新庁舎内に移転しました。引き続きパーソナリティーが自らCDやSD、データ等を再生し、ミキサーで調整、原稿・メールを直接読みながら喋るワンマンDJスタイルで放送しています。

全国放送や県域放送と違って、地域色を生かした市民参加型の番組や地域情報の発信

拠点として、地域振興や観光資源の活用、公共の福利の増進などに寄与しています。私も月曜日～金曜日、夕方5時から7時までKTRAXという番組を担当しています。ぜひ今後も76.3MHz FMピッカラをお聴きください。

保護司の異動

おつかれさまでした！

退任

佐々木 誠一 (西山町) 北村 勤 (善根)

よろしくお願ひします！

新任

牧 匡尚 (東本町) 横田敏盛 (宝町)

